

# 特別支援教室だより

令和5年 7月 吉日  
巡回拠点大杉東小学校  
特別支援教室通信  
令和5年度 No.4

今年度の「特別支援教室だより」では、児童の困りに対して、「その困りの原因は?」「何がしてあげられるの?」といった視点で、巡回指導教員が考えた内容を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】



## 「書くこと」が苦手な子



【 こんなことが考えられます 】

学校では、基本的に書いて学習することが多いです。ノートに自分の考えを書いたり、テストに記入したりしています。ご家庭でも宿題に取り組んでいると思います。大人になってもメモをとったり、はがきを出したりするなど書く場面があります。しかし、子供たちの中には、書くことに苦手意識があり、度々手が止まったり、マスから文字がはみ出してしまったりするお子さんがいます。その背景には、字を書くなどの指先を使った細かな作業、または目などの感覚器官からの情報と指先の細かな作業との結びつきの困難さが影響していることがあります。

【 支援できることはなんでしょう 】

- 鉛筆の持ち方を確認する。
- しっかり握れて指にフィットしやすい三角鉛筆や、鉛筆にはめるグリップを使う。
- マス目の大きなノートを使う。
- 始める前に書く量を子供と相談して決め、見通しをもたせる。
- 腰が丸まらないように腰を起こしたり、足の裏を床に付けて座ったりするなど、良い姿勢を意識させる。

☆練習が足りないからとたくさん書かせたり、叱ったりするのではなく、周囲の人がその子に合った方法を考え、ゆっくりと向き合っていくことが大切です。



本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

